

取扱説明書



車検対応HIDコンバージョンキット (24Vタイプ)

■カー用 ■24V H4 HI/LO

24V車専用 12V車にはお使いいただけません。

注文コード:20163535

このたびは、車検対応HIDコンバージョンキット(24Vタイプ)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

使用上の注意事項について

- 点灯中はHIDバーナー、バラスト、コード類には触らないでください。
本製品は点灯中に2万ボルトの高電圧が発生します。HIDバーナー、バラストコード類には絶対に触らないでください。高電圧感電によるヤケドや死亡につながるおそれがあり大変危険です。
- 本製品を点灯/消灯やロービーム/ハイビームの切り替えを頻繁に行わないでください。
点灯/消灯やロービーム/ハイビームをくり返しますとバーナーの寿命が低下したり、点灯に不具合が生じます。また、システムを破損させる原因になる場合もあります。
※点灯/消灯を短い間隔でくり返し行うと点灯しなくなる場合がありますが、バラストの安全回路が作動したことによる症状で故障ではありません。数秒間たって再点灯してください。
- 本製品に異常、破損などを発見された場合
使用中に本製品に異常、破損などを発見された場合、ただちに使用を中止しお問合せ窓口にご相談ください。異常が解消されるまで絶対に使用しないでください。
- 使用中にHIDが消灯した場合
使用中にHIDが消灯した場合は、速やかに安全な場所に車両を移動させランプのスイッチをOFFにして、数秒間たって再点灯してください。それでも点灯しない場合はハザードランプ以外の照明スイッチをOFFにして、15分ほどたって再点灯してください。正常にバーナーが点灯する場合は異常ではなく、システムの安全回路が作動したことによる症状で故障ではありません。そのままご使用ください。
※それでもバーナーが点灯しない場合は、ただちに使用を中止しお問合せ窓口にご相談ください。異常が解消されるまで絶対に使用しないでください。
- 光軸の調整について
HIDバーナーはハロゲンランプより明るいため、使用前に必ず光軸調整を行ってください。光軸が合っていないと他の車両に幻惑をあたえ事故を誘発させる原因となり大変危険です。光軸の調整は正しい設備のある施設にて正確に調整してください。
- 運行前の点検について
 - ・ランプを点灯させ、明るさが不足していないか、照射方向がくるっていないか点検します。
 - ・ランプのレンズに破損、ヒビ割れなどがないかを点検し、また確実に取り付けられているか点検します。ただしこのときに本製品が消灯していることとバルブ・エンジン・ラジエーターなどの各部が冷めていることを確認してから行ってください。
※HIDバーナーは消耗品なので、走行中のトラブルを未然に防ぐため定期的な交換をおすすめします。

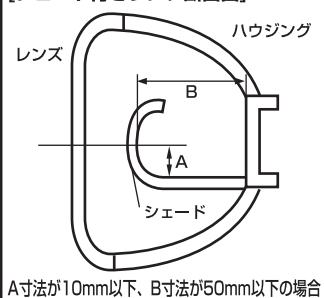
⚠注意

※この商品は自動車整備工場などで付け替えをお願いします。※交換球は、コンバージョンキット専用球が必要となります。※まれにインジケータランプが付かない車両があります。※本書をよくお読みのうえご使用ください。※エンジン停止時や停車時に、ランプの連続点灯を行いますと、バッテリーあがりの原因になるおそれがあります。※エンジン始動直後に電圧が高くなる車両はバーナーぎれの危険があるため、エンジン始動直後の点灯はさけてください。※電圧の高い車両はバーナー切れが起こりやすい場合があります。※使用中にヒューズが切れた場合は、原因を解消した後に指定のヒューズに交換してください。※誤った使用や改造を加えての使用、他社製品との使用によるトラブルはその原因に関わらず、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。※品質には万全を期しておりますが、万一製造・出荷などの原因で不具合がある場合は新たな製品と交換させていただきますが、それ以上の責任は負いませんので、あらかじめご了承ください。※ご不明な点がございましたら、お問合せ窓口までお問合せください。

取付け前の確認

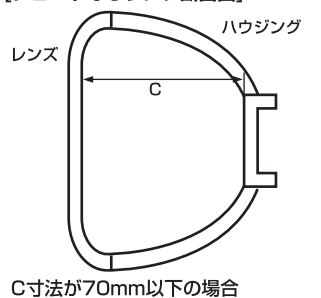
- 製品の確認
取付け作業を行う前に、HIDバーナーユニット、バラストユニット、ハーネスなどに損傷などがないか必ずご確認ください。異常が見られる際は、絶対に装着をお止めください。
- 取付け可能なかの確認(取付け車種のランプハウジング寸法確認)
本製品バーナーは半径10mm、奥行き50mmとなっています。取付け車種のランプハウジングに干渉する車両への取付けはできません。
※本製品バーナーはまれに取付けできない車両があります。

[シェード付きランプ断面図]



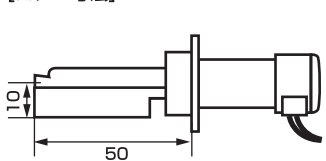
A寸法が10mm以下、B寸法が50mm以下の場合

[シェードなしランプ断面図]



C寸法が70mm以下の場合

[バーナー寸法]



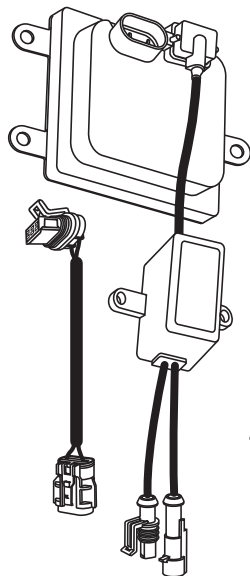
※バーナーの発光部分がまれにくもりなどがある場合がありますが、出荷時に点灯確認を行っているためおこるもので、本製品の品質や性能には全く問題ありません。

- ヘッドランプ減光システム付き車両について

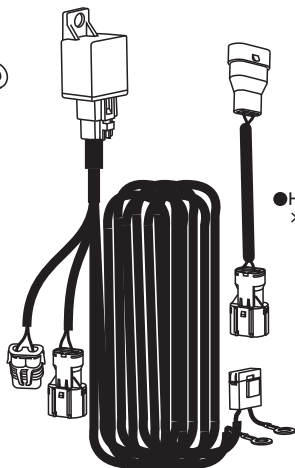
本製品はヘッドランプ減光システムには対応していません。装着する場合は、ヘッドランプ減光システムを排除してから取付けてください。

構成部品 取付け前に必ず部品内容をご確認ください。

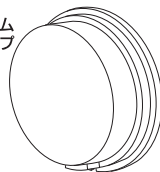
●バラスト/イグナイターユニット
×2



●リレーハーネス
×2



●防水ゴム
キャップ
×2



●両面テープ(大)
×2



●両面テープ(小)
×2



●タッピング
ビス



●ナット

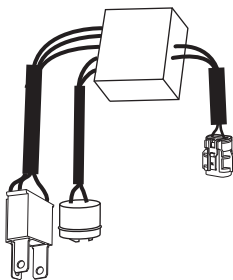


●結束バンド



●本紙取扱い説明書
×1

●コントローラー
×2



⚠ 危険 ⚡ 高電圧 感電注意 分解禁止

- 電源スイッチがONの場合が本体およびコードなどには絶対触らないでください。
 - 絶対に本体およびコードなどに加工を加えたり、分解しないでください。
 - 車両のバッテリーの⊖ターミナルを必ず外して、各コネクター、パナールなどを脱着してください。
 - 回路やハーネスなどは絶対に改造しないでください。
 - テスターなどによる回路診断を行わないでください。
- ※間違った取扱いにより、高電圧による感電でヤケドや死亡にいたるおそれがあります。

取付けに必要な工具

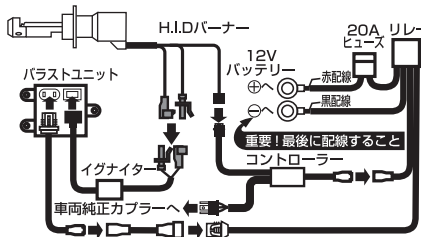
一般工具・ビニールテープ・アルコール

取付け前の確認

使用パーツを簡易接続システム全体の作動(正常点灯)を確認後パーツの取付け(設置)を確実に行ってください。
※各パーツ並びにシステムが正常作動することを事前に確認することで、作業の安全性とトラブルを未然に防ぐために必ず実行してください。

取付け説明書

1.ハーネス接続図 ※イラストおよび説明文章が1灯分となります。もう一方も同様の作業で行ってください。



HIDバルブをヘッドライトユニットに取付ける前に、カバーを付けたまま配線の接続をしてハイ/ロー点灯確認してください。点灯確認を行わずに車両へ取付け後のトラブルに関しましてはクレームの対象外となります。

※点灯確認は10秒以上行わないでください。点灯したバルブは直視しないでください。バルブは点灯中・直後は高温になっています。ヤケドなどのおそれがありますので十分に冷ました上で取付け作業を行ってください。

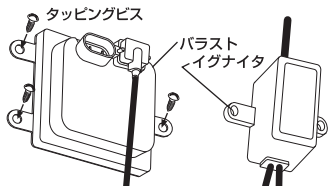
※点灯直後各ヒューズがきれるようであれば許容範囲内でヒューズ容量を上げたものに交換してください。



- ハーネスは可動部や高温部を避けてとりまわしてください。
- 万一、高圧線の被覆が破損し、車体などに接触しますとアーク放電が発生し引火につながるおそれがあります。

2.パラスト/イグナイターユニット取付け方法 ※説明文章が1灯分となります。もう一方も同様の作業で行ってください。

- (1)高温部分や配線の取回しを考慮し取付け位置を選び、汚れ・油分などを拭き取ります。
- (2)パラスト/イグナイターユニット裏面の汚れ・油分などを拭き取り付属の両面テープのハクリ紙をはがし、(1)の位置へ貼付けます。
- (3)付属のパラストステーなどで確実に固定してください。 ※固定が弱い場合は結束バンドなどを併用してください。

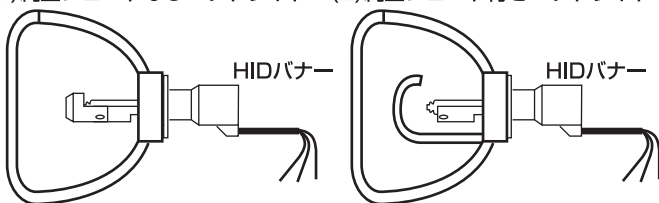


- パラストは可動部や高温部を避けてお取付けください。
- パラストの取付けは水がかかりにくい位置を選んでください。
- 穴あけ加工の際は裏側にコード・ハーネスなどを破損しないようによく確認してください。

3.純正ヘッドランプに応じたHIDバルナーの準備 ※イラストおよび説明文章は1灯分となります。もう一方も同様の作業で行ってください。

- 取付け車両のヘッドランプを確認して、純正シェードない場合は(1)へ、純正シェードある場合は(2)へ
- (1)H4 HIDバルナーをそのまま装着してください。
- (2)H4 HIDバルナーのフード取付けビスを取外して、フードを取外して装着してください。

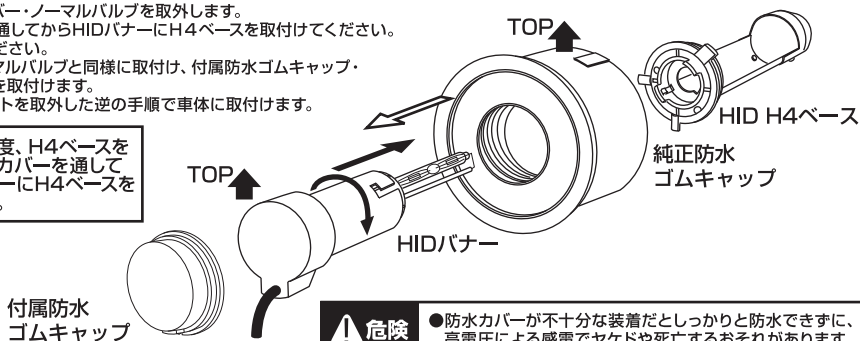
- (1)純正シェードなしヘッドライト
- (2)純正シェード付きヘッドライト



3.HIDバルナー取付け方法 ※イラストおよび説明文章は1灯分となります。もう一方も同様の作業で行ってください。

- (1)サービスマニュアルを参照し車体からヘッドライトユニットを取外し、バルブのカプラー・防水カバー・ノーマルバルブを取外します。
- (2)純正防水カバーを通してからHIDバルナーにH4ベースを取付けてください。 ※下図をご参照ください。
- (3)HIDバルナーをノーマルバルブと同様に取付け、付属防水ゴムキャップ・バルブのカプラーを取付けます。
- (4)ヘッドライトユニットを取外した逆の手順で車体に取付けます。

HIDバルナーから一度、H4ベースを取外し、純正防水カバーを通してから再度HIDバルナーにH4ベースを取付けてください。



- 防水カバーが不十分な装着だとしっかりと防水できずに、高電圧による感電でヤケドや死亡するおそれがあります。

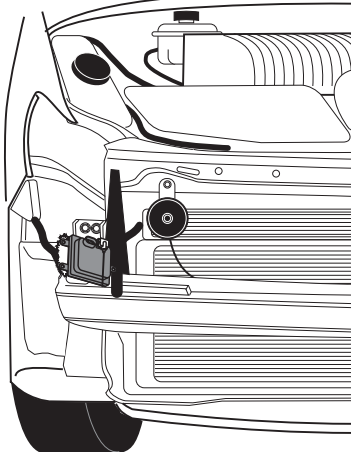


- HIDバルナーの取付けは慎重に作業を行ってください。ヘッドライトをキズつけてしまったりHIDバルナーを破損してしまふおそれがあります。

4.最後に ※イラストおよび説明文章は1灯分となります。もう一方も同様の作業で行ってください。

- (1)上記のハーネス配線図を参照し配線を接続し点灯・LO/HIの点灯テストを行い正常であることを確認してください。
- ※車両へ1灯以上のHIDライティングユニットをお取付けの場合は、まず1ユニットごとに作動確認し、同時に点灯確認をしてください。

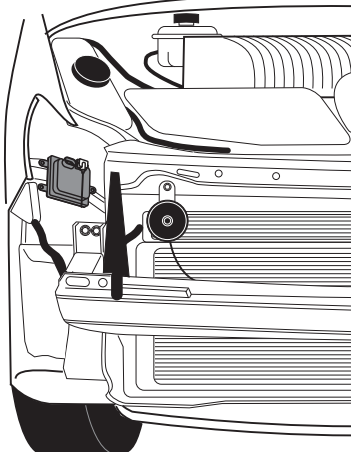
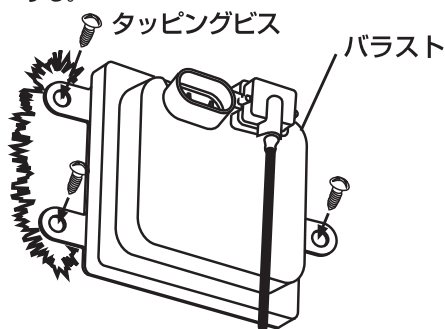
バラスト取付け位置の注意点



フレームなど
金属部分に
直接バラスト
を取付けない
でください。

誤った取付けで下記のような症状を引き起こします。(バラスト本体から通電)

- 本製品を取付けた際にライトスイッチOFFの状態でも常時点灯する。
- 数週間～数ヶ月の使用で頻繁に不点灯が発生する。
- ラジオなどのオーディオ機器にノイズが発生する。



フレームなど
金属部分を
避けて、樹脂
パーツなどに
バラストを
固定してください。

⚠ 注意

- フレームなど金属部分に直接取付けた場合、バラスト本体から通電し、ボディアースされます。
- 樹脂パーツなどの通電しない位置に固定してください。
やむを得ず金属部分に固定する場合は、付属の両面テープをご使用いただき絶縁処理を十分に行ってください。